



令和8年 1月 13日

丹波篠山市議会議長 様

会 派 名
代表者名福祉と教育
向井 千尋

政務活動報告書

この度の政務活動を下記のとおり報告します。

記

1. 活 動 の 種 類: 視察調査 ・ 研修 ・ 広報広聴活動
その他 ()
2. 活 動 期 間: 令和8年1月9日(金)
3. 場 所: 総社市役所
4. 活 動 者: 向井千尋、桐村裕一
5. 活 動 の 概 要: (別紙参照)
6. 考 察: (別紙参照)
7. 活動に要した費用:

費目	詳細	金額	積算
旅費	運賃	29,480 /	JR 篠山口～JR 総社駅 29,480 (乗車券 4,840 自由席 2,530) × 2 × 2 人分 = 29,480
	車賃	293	自宅～JR 篠山口 @293 (向井 11.5 km × 2 ÷ 25.8 km/L × 146 円/L = 130 円 / 桐村 6.7 km × 2 ÷ 12 km/L (ポルポ) × 146 円/L = 163 円) /
	駐車場	600	駐車場代 600 /
その他		3,460 /	手土産
合計		33,833 /	

政務活動調査研究報告書

報告者	福祉と教育 向井千尋、桐村裕一
日時	令和8年1月9日（金）
調査名	総社市におけるひきこもり支援について
開催場所	総社市役所 社会福祉協議会ひきこもり支援センター「ワンタッチ」（社会福祉協議会） 居場所ほっとタッチ
調査内容	【総社市の概要】 ・人口 69,450 人、世帯数 30,069、面積 211.9 km²、2/3 が森林、岡山市、倉敷市と隣接したベッドタウン、人口は微増している。 【福祉王国について】 ・全国屈指の福祉文化先駆都市の実現をめざし、子育て王国総社、障がい者雇用「障がい者 1500 人雇用」、予約乗合タクシー「雪舟くん」等、市民に寄りそった福祉施策を推進している。社会的弱者が暮らしやすく住みやすいまちこそが、だれもが安心して暮らし続けられるまちとして「福祉王国プログラム」を展開している。 【ひきこもり支援について】 [H27 年] ・「ひきこもり支援等検討委員会」設置。それまで、市は権利擁護、生活困窮、障がい者雇用の相談窓口を社協に委託していたが、その中で「若い年代の人がひきこもっている」という相談が多く寄せられ「ひきこもり」に特化した支援の必要性があるのかもしれないと始まった。 [H29 年] ・ひきこもりに特化した支援窓口「ワンタッチ」の開設。民生委員・福祉委員とともに調査により 207 人の当事者を支援することになった。 [H30 年] ・当事者が気軽に訪れることができる居場所「ほっとタッチ」を開設。平日 15 時～17 時に開所、サポーターにより対応している。昼間の外出が難しい方には月 1 回「日陰の集い」開催。10～20 代の若い方が来所している。 ・家族支援「ほっとタッチの会」13 家族が親睦会等を行っている。

	[R3年] ・2つ目の居場所「ほっとタッチポエム」開設。 ・ひきこもりサポーター（登録数 103 人、実働されているのは 3 分の 1 程度）ほっとタッチのスタッフが主な活動。釣り、将棋などの当事者の希望に寄りそったサポートを状況に応じ行っている。 [その他] ・メタバース（バーチャルな居場所）の開設を今年度から検討中。 ・当事者の「自律」への支援を行っている。就労がゴールではない。本人の望む社会参加のあり方を共に考えていくことが重要である。成功体験を積むこと。 ・社協への委託については、H29 年度、30 年度は市単独、R1 年～国庫補助を受けている。R6 年度は 16134 千円（国庫 7511 千円、市 8623 千円） ・生活困窮者就労準備支援事業費等補助金（ひきこもり支援推進事業）を活用、厚労省のモデル事業として令和元年より実施している。
質疑応答	問：市民向け養成講座によるサポーターの状況について、専門職と地域人材の組み合わせ、支える側の共通理解や大切にされていることは何か？ 答：当事者に寄り添いサポートしてほしいと考える。熱心な方は前のめりになりがちで、それが本人への負担になることもある。熱意は分かるが、「日常家」としての関わりを大切にしたい。 問：社会参加支援の現状、居場所とされているほっとタッチも含めてスポーツ活動や農作業・料理体験、絵画や対話支援の状況については？ 答：居場所は自由なことができる場。畑で野菜を作ったり、料理したり、雰囲気に合わせて活動している。ゲーム、テーブル卓球、折り紙、俳句、将棋、当事者の興味からの活動をしている。 問：民生委員の方が頑張ってくれた地域のデータと、相談に来られる方々の情報が乖離していることがいろんな市の課題であります（当市も含む）、どのようにすれば隅々まで把握していくことができるのか？ どういう地域展開をされているか？

(引きこもりの概念が幅広く、本人が引きこもりと思っていないケースもあるが引きこもりと社会参加がし難い方への支援)

答：年代層については、民生委員さんたちのデータは40代以降の人が多く、センターが把握しているのは10代以降の人が多い。家族そのものが周りとの関わりなく孤立していることが多い。相談につながりにくいケースも多く、SNS、ネット、メタバース等を今後は活用していきたい。

問：自己肯定感の支援について、失敗を繰り返し、自信をなくしている方々の、自信回復につながる支援の内容は？

答：「ひきこもり」はネガティブなイメージだが、肯定的に捉えて前に向けるよう関係性を築くところからは始めている。成功体験を積み重ねていくことが大切である。

問：負の連鎖である不登校からの引きこもりの現状など、義務教育の不登校と、高校を中退した子たちの支援とその流れについて教えてください。

答：教育委員会と連携している。12月に進路が決まっていない生徒についてセンターに連絡があるので、卒業後、顔合わせを行う。今年度は65人。半数は本人か家族と話せている。内14人が社会参加につながる。10人程度は関わりがある。

問：家族支援について、家族間のうまくいっていない状況のかかわりなど

答：家族と面談するが、母親との面談が多い。父親は現実と向き合わないケースが多い。家族会への参加、研修会等へ呼びかけ行う。

問：ひきこもり実態把握についての方法、行政、社協、民児協、事業所等それぞれの役割と協働連携の状況にについてどのように工夫されているのか？

答：地域にアンテナのある方からの情報による。民生委員が12月で改選になったので、経験のある方が少なくなった。定例会でセンターの紹介などしている。

問：当事者支援について、SOSの出し方等の情報発信等の工夫について教えてください。

答：多機関連携により把握に努めている。8050の50の方は経済的自

立度が難しい。重層的な支援を行う。

問：重層的体制整備事業の取組みとひきこもり支援事業の位置付けはどのようにされていますか？

答：当事者支援としての位置付け。SOS、電話、メールなどでの窓口対応。
4月21日に市役所の場所が変わった。社協は市役所とは別棟であったので、現在の市役所2階フロアに行きづらくなったようである。課題でもあり、安心して相談できるようメタバース等検討中。

問：休日の相談は？

答：土日は対応していない。イベントの出店等は行っている。

問：「日陰の集い」というネーミングは少しネガティブではないのか？

答：昼間でかけることに抵抗がある方には、利用しやすい。あまりネガティブにはとらえていない。現在はNPO法人あかね（岡山市）に委託しているが来年度からは社協で実施する予定。

問：「ひきこもり」という言葉に対してどう思うか？

答：とても悩ましい。本当に悩む。実際に当事者に「ひきこもり」という言葉を使ったことはない。どんなことで困っているのか？それをひもといていきながら、認めていく。「ひきこもることが問題」としないようにしている。かかわっていても前にむけるわけではない。会えなくなることも大切な時間だと思っている。今の状態を認めていくことが大切で、関係性を築くことが重要である。

2枚のチラシがあるが（「ひきこもり支援センター」と「話してみませんか？」）「ひきこもり」の方はほぼ使わない。

問：ひきこもりセンターの職員は？

答：2人(正規職員)、センター長は兼務。

問：不登校の子どもは居場所には来るのか？

答：来ない。

【居場所「ほっとタッチ」を見学】

- ・市役所から徒歩で2～3分の小さな平屋の民家。ダイニングキッチン、個室が3つあり、相談、独りになりたい等の用途により使い分けしているとのこと。小さな畑があり、サポーターさんで得意な方が一緒に野菜

	栽培している。 ・市役所に行きづらくなった方がおられるが、居場所への来所は増えている。 ・1日にサポーターさんは2人、来所者さんは3～4人程度。 【総社新庁舎について】 令和7年3月に完成、「新しい未来を創る日本一市民に優しい市役所」として、細部に渡る市民への配慮を感じる市役所。現在は旧庁舎の解体工事中であった。1階にワンストップ課（窓口）を導入、日本一優しい市役所推進課の設置、こども夢づくり課があり、保育園の入所受付相談等も行っている。市民の主要な手続き等が1階で完結できるようになっている。 2階に社会福祉協議会（ひきこもり支援センターも社協内にある）、議会事務局（別棟）、8階には市内が見渡せる展望台。議場はより市民に近い場所だという議会の要望により3階、モニター3台、傍聴席にも2台設置、傍聴席には子どもを連れて傍聴可能にするための防音室設備。質問席の間接照明は議員の表情が暗くならないように配慮されているとのこと。 すべて、地元木材使用、自然光を多く取り入れた大変明るい新庁舎とのこと。総額約100億、合併特例債を活用している。（合併20年だが、延長の最終年での使用とのこと） 【視察対応】 議会事務 小原純局長、日笠哲弘次長、 社会福祉協議会 ひきこもり支援センター 大柳堅司センター長
考察	・ひきこもり支援についての経緯と現在についての詳細を知ることができた。未だ「ひきこもり」という概念も定まってなく、制度の隙間で取り残されていた方々について焦点をあて早期から取り組んでこられたことを理解した。 ・財源については、初期は市の一般財源から政策として取り組み、厚労省のモデル事業として全国に先駆けての取り組みとして現在に至っている。 ・社協が市役所2階にあり、社会福祉士等のプロパーによる相談が充実している。また市福祉課との連携もできている。 ・全国屈指の福祉都市「福祉王国」総社市、福祉のまちづくりを施政の中

	心に据えた取組みについては、本市にとっては学ぶべきである。 ・新庁舎について、「市民に優しい市役所」をめざし、さまざまな箇所で市民への配慮が施されており、学ぶべきことが多い。 ・議会について、議場のモニター設置、傍聴への配慮、質問者への照明など経費の配分にも考慮しながら工夫されていた。
--	---

領 収 証

福祉と孝教育 様 令和8年 / 月 9 日

★ ￥300.

但 駐車料金として

上記正に領収いたしました

内 訳

税率	金額(税抜・税込)
%	消費税額等
税率	金額(税抜・税込)
%	消費税額等

JR篠山口駅前

丹波篠山市大沢新14

酒井モータープー

TEL(079)594-036

コクヨ ウケ-1048

領 収 証

福祉と孝教育 様 令和8年 / 月 9 日

★ ￥300.

但 駐車料金として

上記正に領収いたしました

内 訳

税率	金額(税抜・税込)
%	消費税額等
税率	金額(税抜・税込)
%	消費税額等

JR篠山口駅前

丹波篠山市大沢新143-8

酒井モータープー

TEL(079)594-036

コクヨ ウケ-1048

丹波篠山

大正ロマン館

株式会社丹波篠山大正ロマン館

〒669-2332

兵庫県丹波篠山市北新町97

TEL:079-552-6668

http://tanbasasayama.hyogo.jp

登録番号:T6-1400-0104-2063

端末番号:1915

2026-01-08 11:19:25

端末取引ID:78540-0

領収証

福祉と孝教育 様

黒豆入りおかき36 ※ ￥3,460

小計	￥3,460
合計	￥3,460
内消費税	(￥256)
(8%対象	￥3,460
内消費税	￥256)

領収金額

￥3,460-

(税 ￥256-)

(クレジット ￥3,460-

内消費税 ￥256-)

注) ※は軽減税率(8%)適用

但し

上記正に領収いたしました。

担当書印



領 収 書

Receipt

領収年月日
金 額2026-1-9
¥29,480登録番号: T1120001059675
(消費税等込み) 税10%

上記金額確かに領収いたしました

購入商品 JR乗車券類

(20128 8枚)

西日本旅客鉄道株式会社

篠山口駅MK2発行 30129-01

印紙税申告納
付につき大淀
税務署承認済

7 6 7 8 3 8 7 6 5 0 0 3 1

No.7678387650031



兵庫県丹波篠山市議会 行政視察

1. 視察日程 令和8年1月9日（金） 13:00 ～ 15:00
2. 人 員 丹波篠山市議会 会派「福祉と教育」議員2名 様
3. 会 場 第3委員会室
4. 視察事項 ひきこもり支援事業について
5. 出席者

保健福祉部	次長兼福祉課長	小 野 玲 子
ひきこもり支援センター（社協）	センター長	大 柳 堅 司
議会事務局	局長	小 原 純
〃	次長	日 笠 哲 宏
〃	庶務調査係 主事	柴 田 美緒子
6. 視察次第
 - （1）歓迎あいさつ
 - （2）丹波篠山市議会様 来総ごあいさつ
 - （3）説明者紹介
 - （4）視察事項説明・質疑応答・議場見学
 - （5）閉 会

総社市

ひきこもり ワンタッチ 支援センター

あなたのことを忘れていません

あなたと一緒に考えます

相談専用

☎ 92-8597

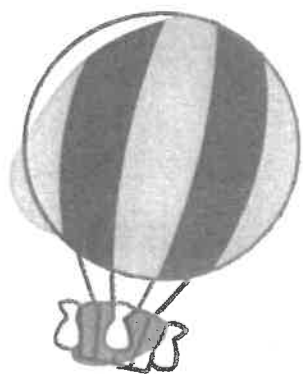
E-mail: soudan@sojasyakyo.or.jp

ご本人へ

ひきこもりの方の多くが焦りや不安を抱えています。自分で答えが見つからないときは、まずご相談ください。一步踏み出すあなたと一緒に考えます。

ご家族へ

誰かに話をする事で気持ちが楽になり、一緒に考えると、問題の整理ができます。ご家族だけでもご相談ください。



- 専門の相談員が、対応します
- 相談の内容についての秘密は守られます
- 相談は無料です

社会福祉法人 総社市社会福祉協議会

ひきこもり支援センター ワンタッチ

岡山県総社市における

ひきこもり支援について

総社市



子育て王国

そうひや

